

調査解析 3

PM2.5等の大気汚染物質にかかる濃度変動の挙動把握

大陸からの越境汚染等、国内外からの移流が危惧される PM2.5 について、県内の濃度分布差の要因を解析するとともに、PM2.5 や黄砂と他のさまざまな大気汚染物質や大気降下物との関連について実態を把握し、大気に関する適切な情報を県民へ提供します。

<サブテーマ>

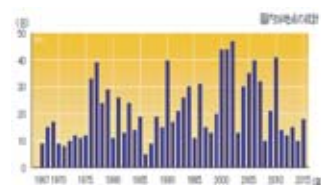
- ・ PM2.5 の県内濃度分布差の要因解明
- ・ PM2.5 とともに移流する大気汚染物質や大気降下物の実態把握

【現状における課題】

- PM2.5やオキシダントの環境基準非達成局の存在
- 黄砂や移流する有害物質への危惧
- 大気からの琵琶湖や流域への影響

年度	H21 (2009)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)
彦根	○	○	○	○	○	○	○
守山	○	○	○	○	○	○	○
甲賀	○	○	○	○	○	○	○
八幡	○	○	○	×	×	○	○
東近江	○	○	○	×	×	×	○
彦根	○	○	○	○	×	○	○
長浜	○	○	○	○	×	×	○
高島	○	○	○	○	○	○	○
自津草津	×	×	×	×	×	○	○

PM2.5 環境基準達成状況

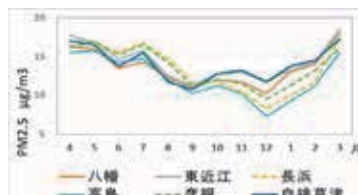


年別黄砂観測日数
(気象庁HPより)

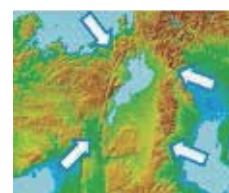
【課題解決に向けた対応】

1 県内でPM2.5等の濃度差が生じる要因を解明

- PM2.5 等の大気汚染物質について県内で濃度差が生じる要因を解析 (地域発生源、県外からの移流影響等)



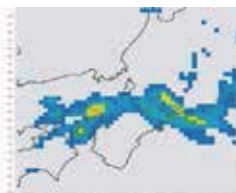
PM2.5 月別平均値
(2012～2015年度の平均)



標高の低い地域から風の進入
(大気汚染物質の移流)

2 PM2.5と他の大気汚染物質や大気降下物との関連を把握

- PM2.5 とともに国内外から移流する物質の調査
- 大気からの流域への負荷量の解析



PM2.5中の窒素濃度



雨で地上に降下する窒素

シミュレーション解析による大気中の含窒素粒子(PM2.5の成分)が雨に溶解し、地上に降下することを示します。

- 大気汚染抑制に必要な対策の基礎データとして活用
- 情報提供により、県民の安全・安心を確保